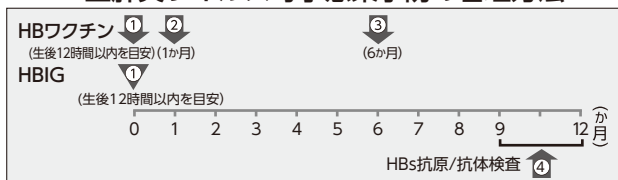


## B型肝炎ウイルス母子感染予防の管理方法



日本小児科学会の「B型肝炎ウイルス母子感染予防のための新しい指針」(2013)に基づくスケジュールより作図

HBs抗原陽性の母親から出生した児に対し、原則として以下の感染予防処置を行う。

- ① 出生直後(12時間以内)が望ましいが、もし遅くなった場合も生後できる限り早期に行う、HBIG (HBグロブリン筋注用) とB型肝炎ワクチン (HBワクチン) を注射する。
- ② 生後1か月 HBワクチンを注射する。
- ③ 生後6か月 HBワクチンを注射する。
- ④ 生後9～12か月を目安にHBs抗原とHBs抗体検査を実施する。

HBs抗原陰性かつHBs抗体 $\geq 10$  mIU/mL … 予防処置終了 (予防成功と判断)

HBs抗原陰性かつHBs抗体 $< 10$  mIU/mL … HBワクチン追加接種

HBs抗原陽性 … 専門医療機関への紹介 (B型肝炎ウイルス感染を精査)

BC-HBG-307B-

2025年4月作成

審J2504017

日本血液製剤機構

## B型肝炎母子感染予防接種記録

| 接種予定日   | 接種回数   | HBIG* および HB ワクチン (ロット番号添付のこと) | 接種または投与日 | サイン |
|---------|--------|--------------------------------|----------|-----|
| 年 月 日   | 1 回目   | HBIG*                          | 年 月 日    |     |
|         |        | ワクチン (シール貼付部)                  | 年 月 日    |     |
| 年 月 日   | 2 回目   | ワクチン (シール貼付部)                  | 年 月 日    |     |
| 年 月 日   | 3 回目   | ワクチン (シール貼付部)                  | 年 月 日    |     |
| B 型肝炎検査 | 9-12か月 | HBs抗原(+-) HBs 抗体( mIU/mL)      | 年 月 日    |     |
| 年 月 日   |        |                                | 年 月 日    |     |
| 年 月 日   |        |                                | 年 月 日    |     |
| 年 月 日   |        |                                | 年 月 日    |     |

\*HBグロブリン筋注用